

平成21年4月28日

各位

会社名 太陽化学株式会社  
代表者名 代表取締役社長 山崎長宏  
(コード番号 2902 名証第2部)  
問合せ先 財務部部長 荒木幹治  
(TEL 059-340-0802)

(訂正・数値データ訂正あり)「業績予想の修正に関するお知らせ」の一部訂正について

平成21年4月27日に発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」の記載内容に一部誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたします。なお、訂正箇所には下線を付しております。

記

【訂正内容】

1. 平成21年3月期通期業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)  
(1)連結業績予想

<訂正前>

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成21年2月9日発表)	36,000	1,200	780	230	11円02銭
今回修正予想(B)	35,406	1,170	913	<u>319</u>	<u>15円29銭</u>
増減額(B-A)	△594	△30	133	<u>89</u>	—
増減率(%)	△1.7%	△2.5%	17.1%	<u>38.7%</u>	—
前期実績(平成20年3月期)	35,271	1,290	1,055	495	23円32銭

<訂正後>

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成21年2月9日発表)	36,000	1,200	780	230	11円02銭
今回修正予想(B)	35,406	1,170	913	<u>240</u>	<u>11円50銭</u>
増減額(B-A)	△594	△30	133	<u>10</u>	—
増減率(%)	△1.7%	△2.5%	17.1%	<u>4.3%</u>	—
前期実績(平成20年3月期)	35,271	1,290	1,055	495	23円32銭

## (2) 個別業績予想

<訂正前>

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成20年5月19日発表)	34,500	1,000	1,000	530	25円39銭
今回修正予想 (B)	34,436	1,048	1,068	<u>378</u>	<u>18円11銭</u>
増減額 (B-A)	△64	48	68	<u>△152</u>	—
増減率 (%)	△0.2%	4.8%	6.8%	<u>△28.7%</u>	—
前期実績 (平成20年3月期)	33,910	1,181	1,139	120	5円64銭

<訂正後>

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成20年5月19日発表)	34,500	1,000	1,000	530	25円39銭
今回修正予想 (B)	34,436	1,048	1,068	<u>300</u>	<u>14円37銭</u>
増減額 (B-A)	△64	48	68	<u>△230</u>	—
増減率 (%)	△0.2%	4.8%	6.8%	<u>△43.4%</u>	—
前期実績 (平成20年3月期)	33,910	1,181	1,139	120	5円64銭

## 2. 修正の理由

<訂正前>

(1) 連結 売上高、営業利益は前回予想を若干下回る見込みであります。経常利益は前回発表予想 (平成21年3月期第3四半期末時点) における為替差損がその後の為替相場により59百万円回復したことで海外子会社の助成金収入62百万円の発生等により9億13百万円と前回予想を1億33百万円上回る見込みであります。

また、当期純利益は上記の影響により3億19百万円と前回予想を89百万円上回る見込みであります。

なお、個別決算に計上する関係会社株式評価損ですが、連結損益に与える影響はありません。

<訂正後>

(1) 連結 売上高、営業利益は前回予想を若干下回る見込みであります。経常利益は前回発表予想 (平成21年3月期第3四半期末時点) における為替差損がその後の為替相場により59百万円回復したことで海外子会社の助成金収入62百万円の発生等により9億13百万円と前回予想を1億33百万円上回る見込みであります。

また、当期純利益は上記の影響により2億40百万円と前回予想を10百万円上回る見込みであります。

なお、個別決算に計上する関係会社株式評価損ですが、連結損益に与える影響はありません。

<訂正前>

(2)個別 売上高、営業利益、経常利益は前回予想を概ね確保できる見込みであります。当期純利益は当社が間接的に保有する中国の連結子会社「太陽食品(天津)有限公司」の株式について、現状の収益状況と今後の見通しを勘案し関係会社株式の評価損を特別損失として3億11百万円計上したこと等により、3億78百万円と前回予想を1億52百万円下回る見込であります。

<訂正後>

(2)個別 売上高、営業利益、経常利益は前回予想を概ね確保できる見込みであります。当期純利益は当社が間接的に保有する中国の連結子会社「太陽食品(天津)有限公司」の株式について、現状の収益状況と今後の見通しを勘案し関係会社株式の評価損を特別損失として3億11百万円計上したこと等により、3億円と前回予想を2億30百万円下回る見込であります。

#### 【訂正の理由】

期末決算作業の一環として、各会計処理につき精査しておりましたところ、当社が本年4月27日に発表いたしました当期純利益予測の過程で、法人税等調整額の処理に誤りがあったことが判明しました。

当社は、今回予測作業に誤りが生じた事態を重く受け止め、関連する業務全体のプロセスを再点検したうえで、再発防止策を策定し、即時実行いたします。

以 上